

CMS機能一覧

【要求要件】

◎=必須機能(必ず実装する機能。オプション、カスタマイズ、代替案可)

○=推奨機能(可能な範囲で実装を希望する機能。オプション、カスタマイズ、代替案可)

機能要件		要求要件	備考
1. 基本要件			
1-1.クライアント動作環境			
1-1-1	CMSは、新たにプログラムをインストール等することなく、ブラウザ上で利用できること。	◎	
1-1-2	ID、PASSWORD認証でログインできること。	◎	
1-1-3	CMSは、ASPサービスを提供していること。	◎	
1-2.公開コンテンツ			
1-2-1	閲覧者のパソコン機種、OS、ブラウザ、通信回線などの利用環境に依存することなく、ホームページを閲覧できること。	◎	
1-2-2	サイト全体を統一したデザインで管理できること。	◎	
1-2-3	公開サーバーに公開されるファイルは静的なHTMLであること。ただし、動的に表示させることが望ましいページがある場合はその限りでない。	◎	
1-3.費用			
1-3-1	ユーザー数によって、ライセンス費用が変動しないこと。	○	
1-3-2	管理対象ページ数の増減によって、費用が変動しないこと。	○	
2. ページ作成機能			
2-1.コンテンツ基本要件			
2-1-1	UTF-8の文字コードに対応できること。	○	
2-2.編集方法			
2-2-1	同一ページを複数ユーザーが同時に編集できないこと。	○	
2-2-2	過去のページを複製してページの作成ができること。	◎	
2-2-3	ヘッダーやフッターなど、サイトの共通部分の変更は管理者以外は変更できないこと。	◎	
2-2-4	高度な専門知識を持たない職員でも簡単にコンテンツが作成できるように、WYSIWYGインターフェースが提供されていること。	○	
2-2-5	フォーム入力型のテンプレートを利用できること。	○	
2-2-6	WYSIWYG入力型とフォーム入力型が同一テンプレート内で併設できること。	○	
2-2-7	権限を与えられた作成者のみが、HTMLソースを直接編集できるように設定できること。	○	
2-2-8	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。	◎	
2-2-9	作成中の記事を放置して一定時間が経過すると、自動保存できること。	○	
2-2-10	ページの編集中に公開時のイメージでプレビューできること。	◎	
2-2-11	プレビュー画面を確認しながら、ページの編集を行えること。	○	
2-2-12	作成したページを公開時のイメージ（印刷用CSSを適用しない状態）で出力できること。（内部の決裁用途に使用）	○	
2-2-13	作成したページを公開時のイメージ（印刷用CSSを適用しない状態）でファイル出力できること。	○	
2-2-14	ページ作成の基本操作や、ページ作成時に注意が必要な事例などが、図解入りで分かりやすく説明されたヘルプ画面が準備されていること。	○	
2-3.ナビゲーション			
2-3-1	各ページに対して、統一されたグローバルナビゲーションを自動生成できること。	◎	
2-3-2	各ページに対して、統一されたローカルナビゲーションを自動生成できること。	◎	
2-3-3	各ページのグローバルナビゲーション及びローカルナビゲーションを、管理者による簡易な操作で更新できること。	◎	
2-3-4	パンくずリストを自動生成できること。	○	
2-3-5	その際、ページタイトルが自動的に引用できること。	○	

2-4.編集機能			
2-4-1	見出しレベル (<h>タグ)、段落 (<p>タグ) など、一般的なタグを利用したページの作成が、HTMLの知識がなくても簡単に指定できること。	◎	
2-4-2	metaタグのキーワード編集ができること。	○	
2-4-3	Wordデータを取り込める（もしくはコピー&ペーストする）こと。 その際、アプリケーション特有のHTML表現を自動的に全て削除できること。	◎	
2-4-4	テキストや画像を組み合わせて部品化し、必要に応じてページの中に挿入できること。	○	
2-5.画像に関する機能			
2-5-1	簡易な操作でページ内に画像を配置できること。	○	
2-5-2	設定済みの画像の置き換えができること。	○	
2-5-3	画像の配置位置（左・中央・右）の指定ができること。	○	
2-5-4	画像を配置した場合に、テキストの回り込み指定ができること。	○	
2-5-5	クライアント端末にソフトをインストールすることなく、画像のリサイズやトリミング、解像度の変更などができる編集機能があること。	○	
2-6.アクセシビリティ対応			
2-6-1	日本産業規格「JIS X8341-3:2016」達成等級AAに配慮したコンテンツ作成ができること。	○	

3.コンテンツ管理機能			
3-1.サイトマップ			
3-1-1	サイトマップを自動生成できること。	◎	
3-1-2	自動生成されたサイトマップを、管理者が編集/修正できること。	○	
3-2.新着情報等へのリンク			
3-2-1	ページが公開されたタイミングで自動的に新着情報に記事タイトルを表示（更新）、リンクできること。	◎	
3-2-2	自動生成されるリンクテキストに、自動で日付を付与できること。 また、付与された日付を任意に変更できること。	○	
3-2-3	新着情報に表示されるリンクの掲載期間を、記事単位で指定できること。	◎	
3-3.RSS出力			
3-3-1	サイト全体、あるいはカテゴリごとの新着情報をRSSフォーマットで出力できること。	○	
3-3-2	システム導入時、RSSによる配信を行うページ（またはカテゴリ）の設定ができること。 システム導入後、RSSを配信するページの追加、削除は、サイト管理者により設定の変更ができること。	○	
3-3-3	サイト内外で提供されるRSSデータを読み込み、その内容を任意のページに展開できること。 （他サイトの最新情報一覧を取得し、表示するなど）	○	
3-4.スマートフォン向けコンテンツ			
3-4-1	スマートフォン用で最適表示できること（レスポンシブデザインも可とする）	◎	
3-4-2	スマートフォン用ページをPCページ作成と同時に自動生成できること。（レスポンシブウェブデザインも可とする）	◎	
3-4-3	スマートフォン用ページの表示イメージを、CMS上で確認できること。	○	
3-4-4	スマートフォン用ページにおいて、電話番号をタップすると電話を発信するように設定できること。	○	
3-5.公開画面			
3-5-1	当事業団の特徴を活かしたデザインとすること。	◎	
3-5-2	トップページに新着情報一覧の表示エリアが設置されていること。	◎	
3-5-3	トップページには画像を複数枚掲載できるスライドショーのエリアを表示できること。	◎	
3-5-4	コンテンツが存在しないページへアクセスした場合、専用の案内ページが表示されること。	○	
3-5-5	トップページを除くページにはパンくずリストが自動生成され表示されること。	○	
3-5-6	各ページの同じ位置にグローバルナビゲーションを自動的に生成できること。	◎	
3-5-7	ページの下部に閲覧者の意見を取得するためのフィードバックを設置できること。また、結果を管理者で確認できること。	○	
3-5-8	アクセスランキングを自動的に表示できること。	○	
3-6.アクセシビリティ			
3-6-1	アクセシビリティに配慮した文字の大きさ、配色で記事を掲載できること。	◎	
3-6-2	文字の大きさや表示の拡大・縮小、背景色についてOSやブラウザ、スクリーンリーダー等の支援技術で対応できること。	○	

3-6-3	音声読み上げに配慮したページ構造とし、アクセシビリティに対応したHTMLとすること。	○	
3-6-4	アクセシビリティ支援ソフトを利用する閲覧者に配慮した共通メニューの読み飛ばしができるソース構造とする。	○	
3-7. サイト内検索			
3-7-1	各ページの見やすい位置に検索窓を設置し、サイト内のコンテンツが検索できること。	◎	
3-7-2	検索結果には他ページと同様にヘッダーフッターを表示すること。	○	
3-7-3	検索結果画面にて検索されたワードがハイライト表示されること。	○	
3-7-4	検索ワードのゆれ（曖昧語）を含めて検索できること。	○	
3-7-5	検索ワードを入力する際に検索候補を表示（サジェスト機能）することができること。	○	
3-7-6	記事の公開と同時に検索結果に表示され、記事の非公開と同時に検索結果から非表示になること。	○	

4. サイト管理機能			
4-1. ページ管理			
4-1-1	CMS上で登録されているページを、タイトル、カテゴリー、公開期間などで検索できること。	○	
4-1-2	CMSに登録されている全ページの現在の状態（新規作成中、編集、承認依頼中、公開中、非公開中など）を、一覧で確認、検索、出力できること。	○	
4-1-3	CMS上で、サイト内のページをフォルダ階層（エクスプローラー風）で閲覧、編集開始などができること。	○	
4-1-4	CMS上で、サイト内の画像やPDFファイル等をフォルダ階層（エクスプローラー風）で確認できること。	○	
4-1-5	現時点より未来日を指定して、その時点でのページ及びサイト全体をプレビューできること。	○	
4-1-6	現時点より過去日を指定して、その時点でのページ及びサイト全体をプレビューできること。	○	
4-1-7	管理するディレクトリ階層数に制限がないこと。	○	
4-1-8	構築時に決定したカテゴリー名称に変更が生じた際、管理者が変更できること。	○	
4-1-9	ページごとに公開開始/公開終了の指定ができ、自動的に公開または終了できること。	◎	
4-1-10	記事が承認されてから15分以内に公開サーバー上に公開できること。	◎	
4-1-11	管理者または指定されたユーザーによる即時公開ができること。	◎	
4-1-12	公開されたページを公開サーバーからのみ削除できること。その際、公開期限が終了したページは、自動的に非公開にできること。	○	
4-1-13	その際、対象の画像やPDFが削除対象ではないページからリンクされた状態にある場合、サーバー上に残せること。	○	
4-1-14	ページを削除（ファイル名を変更）する際、サイト内の別のページからそのページにリンクがあった場合、注意を喚起できること。	○	
4-1-15	その際、削除対象のページにリンクしているページを一覧表示できること。	○	
4-1-16	ページタイトルやファイルパスなどのページ情報が記載されたCSVファイルなどをCMSへ取り込むことで、一括でページ作成ができること。	○	
4-2. テンプレート管理			
4-2-1	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。	○	
4-2-2	テンプレートは、ある程度知識のある管理者によって、新規作成や編集ができること。	◎	
4-2-3	テンプレートごとに、掲載画像サイズやファイル容量の制限を設定できること。	○	
4-3. 移行専用編集機能			
4-3-1	ホームページのデータをコピー＆ペーストした際に、画像データやPDFデータをCMSサーバーに簡単に取り込むことができること。	◎	

5. システム管理機能			
5-1. 基本要件			
5-1-1	管理者による、管理コンテンツの割り振り、権限設定、ユーザーID、パスワードの付与ができること。	○	
5-1-2	ユーザーの役職等により「作成のみ」「承認のみ」「作成と承認」など、柔軟な権限設定が可能なこと。	○	

5-1-3	ログイン後の画面に、ユーザーごとの「承認情報」「リンク切れ」「公開停止予定」「公開開始予定」「編集中」といった情報が表示され、それぞれのページにジャンプできること。	○	
5-1-4	システムのメンテナンス中は、システムへのログインを不可にできること。	○	
5-1-5	ページの公開、削除といった履歴をログとして残せること。	○	
5-1-6	任意のページに対して行われた操作履歴を、一覧で確認できること。	○	
5-2.ユーザー管理			
5-2-1	管理者はCMSを使って、簡易な操作でユーザー情報の修正、追加、削除を行えること。	○	

6. その他			
6-1.ウェブブック			
6-1-1	パソコンおよびスマートフォンにて動作するウェブブック（PDFファイルをページをめくるような操作で閲覧できる、拡大縮小機能を有する）を作成できること。	○	
6-1-2	作成できるウェブブックの冊数に上限がないこと、追加の費用が発生しないこと。	○	
6-2.FAQ			
6-2-1	テンプレートを用いて、カテゴリ別表示が可能なFAQページを、容易に作成できること。なお、随時、FAQ項目の追加・更新・削除が容易にできること。	○	
6-2-2	FAQには、関連リンクや問合せ先を容易に設定できること。	○	
6-2-3	利用者が、カテゴリからFAQを容易に探すことができること。	○	
6-2-4	FAQ内に検索機能を持つこと。	○	
6-3.アクセス解析			
6-3-1	全ページ及び各ページのアクセス件数・ログを取得できること。	○	
6-3-2	閲覧者の使用しているブラウザ・OS・モニタサイズが解析及び集計できること。	○	
6-3-3	閲覧者の接続ポイント（都道府県）を解析及び集計できること。	○	
6-3-4	検索キーワード、ページの移動経路が解析できること。	○	
6-3-5	アクセス解析の結果は、CSVファイル等で保存・出力できること。	○	